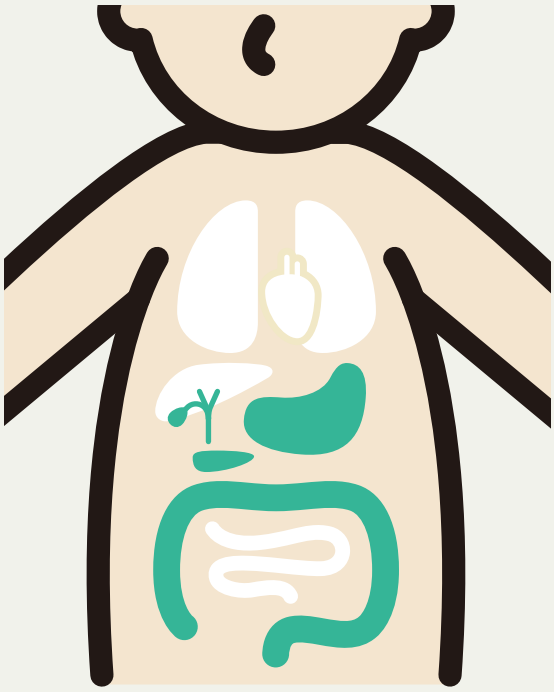
消化器がんマイクロアレイ血液検査

第13回（平成27年度）産学官連携功労者表彰 経済産業大臣賞 受賞

がん対策には、早期発見が大切です。

膵がん
PANCREATIC CANCER

胃がん
GASTRIC CANCER



胆道がん
BILIARY TRACT CANCER

大腸がん
COLORECTAL CANCER

血液から消化器がんの主な4種類について調べます。

消化器がんマイクロアレイ血液検査について

簡単な検査

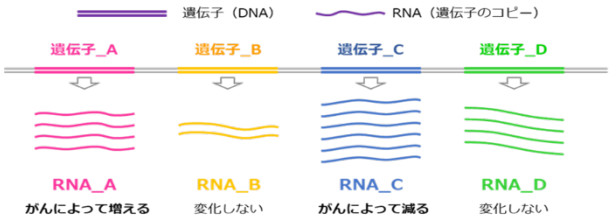
1回の採血のみ

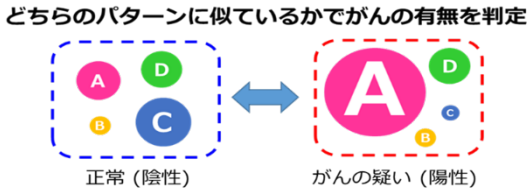
おもな特長

一般がん検診に含まれない「膵がん」「胆道がん」を含む

消化器がんマイクロアレイ血液検査は血液に含まれる「RNA※」の量を「マイクロアレイ」と呼ばれる方法で測定し、その解析結果から消化器系（胃、大腸、膵臓、胆道）におけるがんの可能性を判定する検査です。

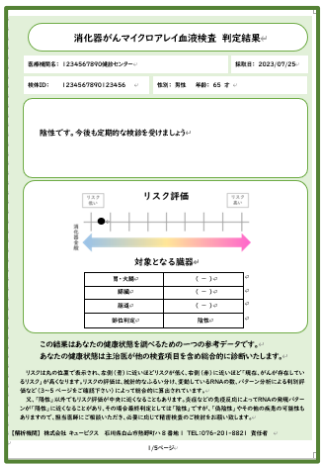
※血中細胞由来のメッセンジャーRNA





ヒトには2万個以上の遺伝子が存在します。
本検査で測定する RNA は各遺伝子（DNA）に記録された遺伝情報の転写物（コピー）であり、身体のあらゆる細胞に存在する物質です。
健康な状態において各 RNA の量はそれぞれ一定の範囲内に保たれていますが、一部の RNA は疾患などをきっかけとして大きく変動する（増える あるいは 減る）ことがあります。
本検査は“がん”のある方に特有の変動があなたの血中 RNA でも起こっているかどうかを調べることで“がん”である可能性を判定します。

検査結果報告書

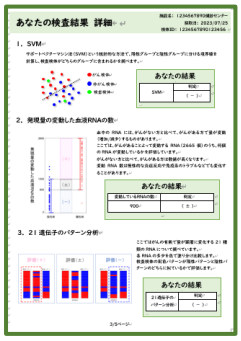


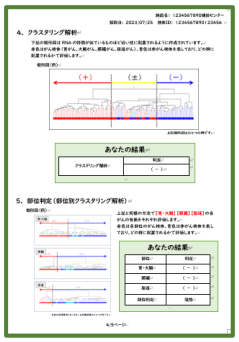
最終判定

下記の検査内容に沿って測定した結果から得た判定結果を報告いたします。

リスク値

部位判定結果





消化器がんで特異的な 2665 遺伝子の RNA 発現をマイクロアレイ法により測定し、①SVM②変動している RNA の数③２１遺伝子の発現パターン④クラスタリング解析を実施し、⑤部位別判定の結果を加えて最終判定を報告いたします。